

自律（じりつ）と自立（じりつ）

おはようございます。

新しい年度が始まり、4ヶ月目に入りました。あと10日ほどで夏休みを迎えます。そこで今日は、あらためてこの二つの「自律」と「自立」について考えてみたいと思います。

どちらも「じりつ」と読みますが、この意味は何でしょうか？国語の辞書を引くと次のように書いてありました。

「自律」＝自分で自分の行動に決まりをつけて、それにふさわしい行動
をするようにすること

「自立」＝他の力にたよらないで、自分の力で行動すること

まず、「自律」です。中学生である皆さんは、今まさに大人になるための入口に立っています。この4ヶ月を振り返り、自分の行動が学校や社会のルールや規律に沿っていたか考えてみてください。皆さんは学習面や生活面、委員会や部活動なども自分で考えて自分で実行していかなければいけません。また、中学生は、時には大人としてみなされ、正しい判断や正しい行動が求められます。幼い考えやわがままな行動を捨てて、自分に厳しくならないといけません。それは、将来社会にでて、立派に通用する人間になるためです。

次に「自立」です。「他の力にたよらないで」ということは、すなわち、一人で生きていく力を持つということです。誰でも困難なことにぶつかると、他人に助けを求めたがるものです。自分ではとても解決できないことが起きた場合には、必要だと思います。しかし、小学生の時期までは、友だちや家族、先生に頼っていたものも、中学生としてまずは自分一人の力で頑張ってみることが大切です。それが「自立」していくことだと思います。やらなければならないことがあってもいろいろな言い訳をして先延ばしにしたり、いい加減に終わってしまったら、面倒なことはさけて楽な方へ楽な方へと進んでいては、人としての成長も進歩もありません。

先週3日間、2年生は「職場体験」に行ってきました。ほんの少しかもしれませんが、社会に出て働くこと、人とのコミュニケーションを図ることの難しさや大変さを体験することができたのではないのでしょうか？学校は、勉強をするとともに社会の規律を学ぶところでもあります。本校の教育目標のひとつ目は、「自ら学び、考え、実行する生徒」です。まさに、この「自律し、自立する生徒」になってほしいという意味が込められています。

最後に、先日、本を読んでいたらこんな言葉がありました。

自分が「こういうふうになりたい」とか「自分でなろう」と思わないと
そうならない。人間というのは「なろう」と思うものにしかたない。
自分が「何になろうと」思わない限りはなれない。

皆さん一人一人、この二つの「自律」と「自立」について考えてみて下さい。
以上で、私のお話を終わります。